

567/3

四三四

大正十二年三月九日

大正十二年三月九日

労働組合大正十二年三月九日

労働組合大正十二年三月九日

來てり聽け社會側の暴虐を!

貧乏くなく資本家は、彼等自身の利潤欲が産んだ目下の財界不況を理由にして、何等責任なき労働者を死地に陥れ、地獄の生活を強ひんしてゐる。更に、彼等は彼等の擁護機關たる官憲の保護の下に、労働者の正當にして當然なる要求を蹂躪し、労働者が持つ唯一の武器たる團結を一舉に破壊して、彼等自身のより残忍なる搾取を持續せんとする。見よ、三國紡績會社の慘虐! 見よ、横河橋梁會社の暴戾! 然して是を助長する官憲の彈壓を!

三國紡績會社 大罷業演說會

吾等は、今、是等の不法、不當なる抑壓に對して勇敢に抗争しつゝ、ある三國、横河の兄弟姉妹の眞の叫びを公表すべく、大罷業演說會を開く。聞け! 繊弱き少女の悲壯なる叫びを。聞け! 勇敢なる闘士の血の叫びを。然して労働階級の堡壘を守り、敵害に迫るべく更に團結せよ。
日時 三月九日午後六時半
場所 於天王寺公會堂
辯 罷工團員及び總士
同盟闘士數十名

主催 日本總同盟 大阪聯合會